

編集後記

熊本地震で被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。被災地で復旧工事に携わられている皆様、お疲れ様です。

建設業は、自然災害があるたびに被災した地域の復旧・復興に尽力しています。が、建設技能者の高齢化等による大量離職時代を乗り切るため、若い担い手の確保が喫緊の課題です。

日建連では防災・減災、インフラの老朽化等に対応する担い手の世代交代を目指した活動を推進していますが、本誌でも今月号から4号にわたり、「担い手の確保と育成」を特集します。建設業に入ってくる若い人を待っています。(M)

熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今号より再び本誌の制作担当となります。今般の地震を受け、2年前に発行したACe別冊「自然災害の記憶と教訓」を思い出しながら、それを教訓として復興を遂げてきた姿を紹介しています。九州の一日も早い復興をお祈りしています。(A)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
 〒104-0032
 東京都中央区八丁堀2-5-1
 東京建設会館
 TEL 03-3553-4095
 FAX 03-3551-4954
 URL <http://www.nikkenren.com/>
 発行者 有賀長郎
 企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
 広報委員会
 制作 株式会社Kプロビジョン
 デザイン 株式会社コンセント
 印刷 株式会社耕文社

©2016 日本建設業連合会
 「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

日建協統一土曜閉所運動

— 土曜日を当たり前休める
 建設産業をめざして —



日建協では、一人でも多くの組合員に「休むことの大切さ」を気づいてもらうため、2002年11月から毎年6月と11月の第2土曜日を統一閉所日とし、運動を行っています。これまで内閣府、国土交通省、厚生労働省のほか、(一社)日本建設業連合会をはじめとした建設関係団体から後援を得ながら、各加盟組合ごとに会社の協力のもと取り組んでいます。

この運動では、2カ月前からのポスター掲示や事前取組みチェックシートの活用など早めの準備を行うことで、閉所に向けた意識を高め、確実な閉所につながるよう呼び掛けています。

建設産業活性化会議において、作業所における週休2日制の実現が打ち出されており、この運動はまさに実現に向けた第一歩となる活動と考えています。

統一土曜閉所運動を建設産業全体の取組みとしてさらに広げ、土曜日を当たり前休める産業をめざし活動していきます。みなさまからのご支援ご協力を宜しくお願いいたします。

統一土曜閉所運動ポスターの電子版は日建協のホームページからダウンロードができます。

<http://nikkenkyo.jp/archives/7781>

【お問い合わせ】

日本建設産業職員労働組合協議会(日建協)

<http://nikkenkyo.jp/>

Mail info@nikkenkyo.jp

TEL 03-5285-3870

お
知
ら
せ